

各位

新経営研究会
代表 松尾 隆



挑戦者本人が語るイノベーションへの挑戦

2025年度前期「イノベーションフォーラム」のご案内

— 急速に進むAI/IoTなどDXとGXの本格化、科学技術本流の画期的変化、求められる人間性と独自の文化・価値観・美意識の回復 —

謹啓 謹んで新春のお祝詞を申し上げます。

旧年中は言葉に尽くせぬご支援をいただき、誠に有り難うございました。

本年も、何卒変わらぬご支援をいただきますよう、幾重にもお願い申し上げてやみません。

去る1982年、同士が相語らい、急変する企業環境と科学技術本流の画期的変化が始る中、各企業が夫々の特徴を発揮し、日本独自の技術・製品開発と“ものづくり”、企業価値の創出を求め合い、明日へのイノベーションの方向と在り方を求め合って行こうと、主としてわが国製造業の経営トップ、“技術・製品開発”と“生産”の中心にあった役員・幹部、アカデミアの方々が産業と専門分野を横断して交流し、相互啓発し合える機会と場の必要を求め合って発足させた同志会です。

お陰をもちまして、弊会は今年、発足43周年を迎えさせていただくことが出来ました。

これも偏に皆様の厚いご支援の賜物で、改めて衷心より厚く御礼申し上げる次第です。

さて、弊会が発足と共にスタートさせ、爾来、皆様のご高評をいただいて参りました弊会発足以来の主軸事業“明日の技術・製品開発と新たな企業価値の創出を考える会”「イノベーションフォーラム」も、お蔭様で今年ご高評裡に発足43周年を迎えます。関係者一同、改めて衷心より厚く御礼申し上げてやみません。

さて、時代は生成AIなど第二世代を迎えたDX化、GX化の本格的要請、科学技術本流の画期的変化、そして何よりも危ぶまれる人間性と独自の文化の喪失。私たちは今、時代が求める真のイノベーション、即ち人間の輝き、多様な独自の文化・美意識の発揚を求められていると信じています。

日本は如何にして、この生成AIを含む今後のデジタル化の進行の中で、日本の強み、日本独自の美意識を発揚し、国際競争力と国際貢献力を合わせ持つ、日本独自の“技術・製品開発”と“ものづくり”、“独自の企業価値”の創出を実現していけるか、問われています。

この「イノベーションフォーラム」は、毎回、今日における画期的イノベーションへの挑戦事例を取り上げ、挑戦者ご本人の夢と苦闘、ご体験と意思を通してご披歴いただき、合わせて温故知新(心)、日本の“ものづくり”の原点に感動的に触れる機会を併せ持つ、今後日本の“技術開発”と“ものづくり”、“事業活動”の在り方を求め合っていこうとする“同志会”です。

この未曾有の時代環境激変の今日、私たちは産業と分野、国と文化の壁を取り払って今日の各々の問題意識とビジョン、挑戦的試みを交流し、「感動的出会い」、「本質に触れる機会」を開きたい。その感動的出会いが既成の通念を打ち破って新しい多様な世界に目を開かせ、明日の指針と希望を開き、人間形成への掛け替えのない機会となる、と確信する次第です。

新経営研究会の求めるべき道の命は、「“感動的出会い”と“本質に触れる機会”、そして“夢とヴィジョンを語り合える機会と場”の創出」と定めて、邁進しています。

是非とも貴台、また御社からのご参加を賜りたく、幾重にもお願い申し上げます。

敬具